

# カンボジア国 高品質種子と接ぎ木育苗技術による野菜の高付加価値化と 生産性向上事業案件化調査

## 企業・サイト概要

- 提案企業：タキイ種苗株式会社
- 提案企業所在地：京都府京都市
- サイト・C/P機関：プノンペン市、国内各州の野菜産地、カンボジア王立農業大学(RUA)



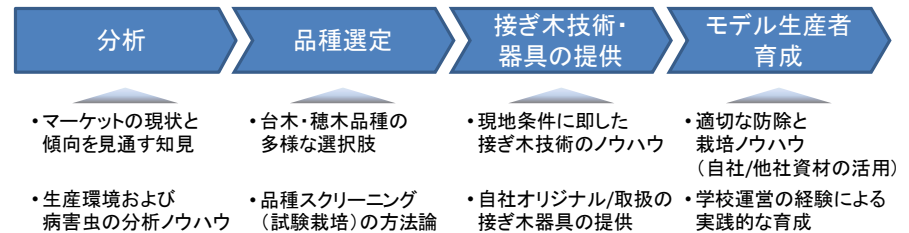
多様な品種

接ぎ木器具

## カンボジア国の開発課題

- 果菜類は輸入に依存：60%超（特に雨季は依存率上昇）
- 果菜類の安全性が国家的課題：輸入果菜類（多くがタイ・ベトナムから）は特に深刻な残留農薬との報道多数、研究もあり。とは言え国内産も不適切な施肥・農薬使用は根強い問題。
- 農家は大半が貧困：入手できる品種の乏しさ、中間～富裕層市場に供給できる品質を維持するための技術や知識の不足。（特に：土づくりと適切な施肥設計、防除、生育管理）

## 中小企業の技術・製品



接ぎ木技術と自社品種提供による  
病害虫に強い高付加価値品種の育苗・生産ノウハウ

## 調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

### 【普及・実証事業】

1. 「接ぎ木育苗ノウハウ」の現地向けカスタマイズ
2. 実証・普及用のモデルハウスをC/P敷地内に設置
3. ノウハウを活用した試験栽培の実施（試験販売まで）と効果検証
4. 育苗～生産マニュアルの策定
5. モデル生産者への技術指導、国内パイロット産地で普及セミナーの実施

### 【期待される効果】

- 王立農業大学(RUA): 多様な果菜類に適用できる接ぎ木育苗ノウハウを修得し、国内普及能力が向上する
- 農業生産者: 現地の病害虫に強い高付加価値の果菜類を栽培できる能力の獲得により、収量や単価が向上し、生計向上につながる

## 日本の中小企業のビジネス展開

- ✓ タキイ種苗: 台木や穂木の種子、接ぎ木器具等の販売をカンボジアで展開
- ✓ 取引先の小売(イオン等)・消費者: 安全・安心な国内産の高付加価値果菜類が安定供給される。食の多様化、栄養改善が見込まれる。
- ✓ 農業関連企業: カンボジアの果菜類産業への多様なプレイヤーの進出が可能となる。（生産資材、ハウス設備、加工関連業者等）